

1. 活動の概要

6月3日(火)、出雲市立神西小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。テーマは「奈良の大仏作りにかける思い」です。

はじめに、第3多目的室で映像を視聴しました。映像を見る前には、簡単に社会科の奈良時代学習の復習をし、ウォーミングアップ。映像では、奈良の大仏が作られた理由や、聖武天皇の思い、作業に当たった人々の生活や苦勞、完成した大仏の姿などが紹介され、奈良時代や奈良の大仏についての理解が深まったようでした。

次は、体育館へ移動し、奈良の大仏の等身大パネルをクラス全員で組み立てました。大仏の台座となる部分の1列目だけは事前に並べておき、児童の皆さんには台座から上の部分のパネルを並べてもらいました。作業をスタートしてしばらくすると、並べる人、シートを整える人、全体のバランスを見る人、などの役割分担が自然にできて、最後にはきれいにそろった大仏が完成しました。

そして、完成した大仏パネルを2階ギャラリーからみんなで眺め、質問や感想を述べ合いました。大仏の手の形や髪型の意味は？服装の意味は？等の疑問がたくさん述べられました。組み立てている最中はじっくり観察できませんでしたが、完成後の大仏パネルを見て、奈良の大きさを改めて実感できたようです。

最後に、大仏パネルを背景に全員で記念撮影を行い、思い出の一コマとしました。

2. 活動の様子

1)大仏づくりと当時の様子を学ぶ



まずは奈良時代の復習から



DVDはわかりやすかったようです。

2)古代体験活動～大仏パネルづくり～



きれいにならべないと



大仏ってこんなに大きいんだねー

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 大仏を造るためにたくさんに人々が努力していたことが分かった。
- 大仏づくりが心に残りました。
- 大仏の手のひらに乗れたことが心に残りました。
- 本物の奈良の大仏を見てみたいです。
- 質問して答えてもらったので良かった。

2)担任の先生から…

- 大仏の大きさを実感できたことは良かった。
- 子ども塾は活用すれば必ず効果があるのでしっかり活用したい。ただ時期やどう活用するのは教師の考え次第なので、計画的に授業を進め、見通しを持って行きたい。
- 学校の恒例行事にしたいです。

3)埋文センターから

映像もしっかり見てもらい、大変良かったと思います。大仏づくりも役割分担を自然と行ってチームワークを発揮していました。質問コーナーは比較のおとなしい子どもさんが多かったようで、少しずつ質問も出て大仏の謎が明らかとなっていました。

映像と大仏作りと質問も合わせると45分だと少し少ないので、もう少し時間が確保できるとさらに理解も深まると思いました。